

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	スペースあい		公表日		令和7年 3月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・子ども達のやりたい活動ができる部屋や広さがあります。(制作、絵本、宿題、積み木等) ・活動内容によって子どもを分けて別室にて活動する工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・多機能型の良い所であり、職員の病欠の際には、放デイ・児発でヘルプを出し合いフォローしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・活動の流れが、見てわかるようホワイトボードに予定が組まれています。文字と絵を組み合わせでわかりやすくしています。	・子ども達の様々な行動パターンを考慮したり、より良い療育を行う上で必要になる環境設定は、日々試案検討中です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日の掃除や適宜、物の整頓や消毒をして、清潔な心がけています。	・普段手の届きにくい場所の掃除サイクルの見直し。 ・子ども達自身の整理整頓の意識の持たせ方。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・状況に応じて調整しています。	・急遽の別室対応の際の、スタッフ配置。連携の取り方。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・週に一度、療育策定会議を行っています。 ・時短職員やパート職員も参加できるように午後の会議を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎日会議を行い、業務や活動について話していますし、会議以外でも、よく話しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部の研修の紹介があったり、興味のある研修に行きやすいようになっています。 ・午後一会議の時間に所内研修を計画し取り入れています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・長年勤務している職員から、若手の職員まで色々な視点から出てくる意見を全体で検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・モニタリングの内容、個別支援計画の周知に努め、その場になかった職員にももれがないよう、回覧し、必要があれば個別に時間を作っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・5領域に関わる項目がすべて入るようにし、子どもに関わる家族、学校、地域、全体で育ていけるような内容を考えていきたいですし、具体的な内容で、達成を積み重ねて行くことで、子ども達の成長を一緒に喜びたいと思います。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・毎日の活動、長期休みなど、入念に計画しています。チームでアイデアを出し合っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・活動履歴を参考にしつつ、新しい活動も立案しています。 ・スタッフ自身がワクワクしながら提案する姿あり有り難いです。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・個別支援計画書に基づいた専門的支援にも力を入れており、作業療法士、保育士による集中的なアプローチも取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・LINEなども使用して、その場に居合わせなかった職員にも、共有できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・LINEなども使用して、支援終了後の話し合いに居合わせなかった職員にも、共有できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々のサービス記録や日誌は必ず記入し、いつでも振り返りができるようになっています。	・漏れがないように、ダブルチェックを徹底していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・保護者からの相談を受けた場合や必要に応じて、定期的なタイミングを待たずに、見直しをすることもあります。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・スタッフは、自然と引き出せる関わりができていますし、ケース会議では支援法のアイデアを出し合っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・送迎時に、顔を合わせて情報共有しています。また、TEL.FAXでもやり取りができています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・多機能事業所の為、時間を合わせた会議を設定し、情報共有をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・児童発達支援センター主催の研修会に積極的に参加し、所内研修で展開しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		・地域の状況をみながら、積極的に実施できるように試案検討中です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・情報が入ってきた際は、手紙やLINEを通して紹介しています。	・研修に積極的に参加し、ペアレント・トレーニングスキルの向上を目指していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・毎日の送迎等でもよく話をしています。 ・家族支援として、積極的に取り組んでいます。	・相談支援スキルの向上。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3		・コロナ禍だったこともあり、機会が減ってしまったが、様子をみながら開催できるよう試案検討中です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・定期的にブログを更新しています。 ・LINEを活用し、全体に情報を流せるようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・委員会を中心に定期的に取り組んでいます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・年に二回、予定を立てており、地震や火災を想定した訓練を必ず行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・会議の際、スタッフ全員でアレルギーチェックをし、注意深く対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・委員会を中心に定期的に取り組んでいます。	・外部研修への参加。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・必ず共有するよう努めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・外部講師を招いての研修を行っています。 ・委員会を中心に定期的に取り組んでいます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				